

町田市教育委員会会議
教育長 小池愼一郎 様



請願第16号

2025年10月21日

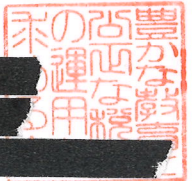
一人一人の子どもの命を大切に 通学の安全な体制を求めます(請願)

豊かな教育と公正な税金の運用を求める会

事務局

連絡先

電話



(請願の要旨)

子どもたちは、安全に安心して近くの学校に通うのが一番です。

南成瀬小学校と南第2小学校が、2025年4月1日「成瀬小学校」に統廃合されました。子ども達が安全に通学するのが、保護者や地域の願いです。伊勢原市等と同様に、町田市でも、必要な所に常時「交通指導員を(シルバー人材センター等から)配置」して、子ども達の通学の安全を確保することを求めます。

(請願の理由)

今日は意見陳述の機会を与えてくださり、ありがとうございます。
南成瀬に住んでいる佐藤と申します。

●通学の安全確保と保護者の負担そして危ないところ

4月の開校式・入学式から現在まで、折を見て、登校・下校の様子を見ています。週によっては、毎日交差点等での横断の様子を見る時もあり、結局私も見守りをしています。地域のご年配の「見守り隊」の方から、「もう少し私が年をとったら、見守りをお願いします」と声をかけられています。

4月5月は、保護者も大変ですが、それぞれの交差点や危険な箇所、見守りも多かったです。

大切な子どもですから、保護者や祖父母等と手をつないだりして、一緒に登校する子どもも、目について多くなりました。

クリエイトの交差点(正門から300m程)の所は、子どもが多く滞留して、「見守り」も一番多かったです。6月下旬頃から通学路が分散され少なくなりましたが、それでも多くの子ども達が、クリエイトの交差点を渡ります。

分散され別の通学路の子ども達は、正門前の「手押し信号」の所に出て集まりますから、その分増えました。「手押し信号」の時間は、夏休みに設定して時間が伸びたそうですが、「(押して)信号が青になり、(青が点滅し)、赤になる」のは、16秒ほどです。間隔が少し伸びましたが、それだけでは安全ではありません。

成瀬小学校近くの交差点(正門から80m程)、ここでは30年程前に待っていた南成瀬小の子どもが自動車にひかれて亡くなっています。

6月下旬頃からは、クリエイトの交差点や成瀬小学校近くの交差点(正門から80m程)では、「見守り」が居たり居なかったりでしたが、9月12日以降は、(ほぼ)毎日「見守り」がいなくて、危ない状況が続いています。

伊勢原市と同様に、町田市でも、必要な所に常時「交通指導員を(シルバー人材センター等から)配置」して、子ども達の通学の安全を確保してほしいです。